

平成 23 年度

東京都教職員研修センター紀要

第 11 号

平成 24 年 3 月

はじめに

経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応するために、子供たちはあらゆる国の人々とともに、互いに尊重し合い、国際協調や社会貢献の精神を高め、世界平和に貢献していく力が求められています。とりわけ東日本大震災後の日本において、子供に社会の発展に貢献する力や、社会の一員としてなすべきことを考え行動する力を身に付けさせることが重要なこととなっています。

東京都教育委員会では、「東京都教育ビジョン（第2次）」（平成20年5月）を策定し、社会全体で子供の教育に取り組むために、また子供たちの生きる力を育む教育を推進するために、具体的な推進計画を示し、実施してまいりました。その中で、個人の役割や責任に対する自覚などを涵養し、社会への参画意識を高めるためには、「他者との人間関係を築く力」を育成することが重要であるとしています。また、「他者との人間関係を築く力」の基礎となるコミュニケーション能力を身に付けることは、国際競争の激しいこれからの社会を生きていく上で極めて大切な力であるとしています。

そこで、東京都教職員研修センターでは、「言語活動の充実に関する研究（2年次）」と「自尊感情や自己肯定感に関する研究（4年次）」に取り組み、子供たちのコミュニケーション能力を向上させ、「他者との人間関係を築く力」を育成することを目指しました。本研究紀要には、その研究成果を集約しました。

「言語活動の充実に関する研究（2年次）」については、1年次の小学校における研究成果を基に、中学校における各教科の言語活動の充実を図る指導の在り方や、言語活動の充実に向けた効果的な校内研修の進め方等について掲載しています。

また、「自尊感情や自己肯定感に関する研究（4年次）」については、自己評価を行うことが困難な子供をはじめ、全ての子供の自尊感情の傾向を把握する方法や、学校の教育活動全体を通して意図的・計画的・組織的に子供の自尊感情や自己肯定感を高めるための教育を推進する方法について掲載しています。

各教育委員会や学校におかれましては、本研究紀要に掲載した研究内容等を教育課程の工夫・改善や教職員の資質・能力の向上や家庭や地域に対する啓発など、教育課題の解決に向けて活用していただければ幸いです。

結びに、当センターの教育課題研究の推進に当たり、研究協力大学や研究協力校をはじめ、調査や検証授業に御協力いただいた各教育委員会や学校・幼稚園、多くの示唆や御助言をいただいた協議委員や講師の方々に御礼を申し上げます。

平成 24 年 3 月

東京都教職員研修センター所長
高野敬三

目 次

自尊感情や自己肯定感に関する研究（４年次） 3

言語活動の充実に関する研究（２年次） 39